

## 北大病院心エコー室で検査を受けた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

北海道大学大学院保健科学研究院心血管エコー研究室では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、北大病院において、通常の診療で得られた過去の診療記録や検査結果を分析することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関して、研究の対象となることを望まれない場合やご不明の点がございましたら、下記「連絡先」へご連絡ください。

[研究課題名] Vector Flow Mapping を用いた心室内血流動態の評価

[研究機関・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 岡田 一範（北海道大学大学院保健科学研究院・助教）

### [研究の目的]

近年、心臓超音波（心エコー）検査のVector Flow Mapping法という手法により、心室内の渦流を可視化できるようになり、より詳細に血流の様子を評価できるようになりました。しかし、この方法で得られる情報の基準値も定まっておらず、どのように患者さんの評価に用いればよいかはよくわかっていません。そこで、私たちは、北大病院の過去の心エコー検査動画像にVector Flow Mapping法を適用することで、VFMによって得られる様々な指標の基準値を策定するとともに、どの指標を評価すればよいかを明らかにしたいと考えました。その成果を、心疾患をお持ちの患者さんやその疑いのある患者さんの検査に役立てたいと考えております。

### [研究の方法]

#### ●対象となる方

2016年3月から2017年5月までの間に、北海道大学病院を受診され、担当医が診療のために必要と判断して心エコー検査が行われた心疾患をお持ちの患者さんおよび同時期に心エコー検査が行われたうち、心疾患や心臓に影響する全身疾患がなく、心エコー検査上も異常を認めなかった方。

#### ●利用するカルテ情報

1. 診療記録から、年齢、性別、身長、体重、診断名、病歴、家族歴、身体所見、血液生化学的検査を含む各種検査所見を調査させていただきます。なお、心疾患患者さんにおいては臨床経過と検査時点の治療内容を調べさせていただきます。
2. 心エコー検査記録から、左室内径、左室壁厚、左室心筋重量、左室収縮機能、左室拡張機能、左房径、左房容積係数を調査するとともに、VFMによって得られる左室内

渦流の大きさや程度および持続時間、エネルギー損失および左室内圧勾配を調べさせていただきます。

[研究実施期間] 実施許可日～2019年3月31日

[個人情報の取り扱い]

本研究の実施にあたり、研究に利用する患者さんの情報に関しては、研究担当者が北海道大学病院内で診療記録や心エコー検査記録を収集した後、お名前、ご住所をはじめ、患者さんを特定できる情報を一切削除した上で管理した上で、研究を進めます。また、研究成果を学会や学術雑誌などに発表する予定ですが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[連絡先]

札幌市北区北12条西5丁目

北海道大学大学院保健科学研究院 助教 岡田 一範 (研究責任者)

電話 : 011-706-3730, FAX : 011-706-3730